

# 平成24年度事業計画

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

## 1. 基本方針

日本の金型産業はリーマンショックに端を発した世界同時不況により大打撃を受け、その後も金型需要業界である各量産部品業界が回復を見せる中、金型だけが回復の兆しもなく苦しんでいる状況で、昨年3.11東日本大震災、さらにタイの大洪水、円高と立ち直る機会も無く厳しい状態が一方向的に続いている。

戦後、日本の金型産業は高度成長とともに、大量に作れば売れた昭和の時代の申し子として発展してきた。すなわち日本のマスマクロダクションの要として日本の発展に貢献してきた。

しかし、平成の時代とともにグローバル化の大きな流れの中で、金型の需要産業は海外に移転、金型も現地調達、それに伴う国内金型需要の激減という状況に陥っている。

これを金型産業の生産高動向で見ると平成3年がピークで1兆9,500億円と約2兆円、その後いくつかの上下動を繰り返しながら下降状態で世界同時不況を迎え大きく落ち込み、平成21年では約1兆1,500億円とピークの4割減となっている。

一方、事業所数は約12,800事業所から約9,600事業所、労働人口は約11万人から約9万人と減少しているものの需要減に見合う供給レベルに至っていない。

また、その間の生産設備の高度化の影響を考慮すると、逆に供給能力は増加していると考えられ、需要に対して供給能力が大幅に上回る状況は改善されていないとの認識を持つべきである。

そのような現況で日本の金型産業、各会員企業、業界団体はどうすべきか。

社団法人日本金型工業会の「金型産業ビジョン」では、「金型技術をコア技術とした新しいものづくり企業」を目指すための将来に向けた3つのキーワードとして「①営業力（提案力）」「②海外展開」「③新たな分野への事業展開」を掲げ、その3つのキーワードをサポートする新たなキーワードとして「④（グローバル）人材育成・人材確保」「⑤技術研究開発」を加えている。

平成24年度は日本の金型産業の正念場として、金型産業ビジョンで掲げている5つのキーワードに対応した会員サービス事業を提供するとともに、グローバル化の怒濤の流れの中で日本の金型産業の方向性について業界全体の共通認識として検討を行う。

また、社団法人日本金型工業会の団体運営に関しても、平成25年度の一般社団法人移行準備を進めるとともに、業界縮小傾向の状況で会費収入も激減していることから、団体運営規模の縮小も平成24年度より着手しなくてはならない。

## 2. 総括的事項

### (1) 金型に関する生産、流通等の調査及び研究（定款第4条第1号関係）

#### ①金型に関する生産統計調査

金型品種別生産高、生産数量等に関する統計及び調査分析を行う。

#### ②金型業界動向調査

金型企業の受注状況、生産状況、経営状況等の調査を行う。

#### ③賃金・労働時間の調査

会員企業に関する賃金・労働時間の調査を行う。

### (2) 金型に関する技術の調査研究（定款第4条第2号関係）

#### ①金型の高度化に対応する技術の調査研究

#### ②金型技術者技能者の養成と高度化支援

### (3) 金型に関する規格の立案及び推進（定款第4条第3号関係）

#### ①金型に関する日本工業標準規格の改正について、経済産業省・産業技術環境局及び（財）日本規格協会並びに関係団体に協力する。

#### ②金型に関する国際規格の制定及び改正に対する協力

金型に関する国際規格の立案及び改正について、ISO（国際規格）及び国際金型協会（ISTMA）及びアジア金型工業会協議会（FADMA）に協力する。

### (4) 金型に関する情報の収集及び提供（定款第4条第4号関係）

#### ①金型の市場動向及び技術動向に関する情報の収集及び提供

金型製造業における海外進出等の市場開発の動向及び金型に関する新加工技術の動向についての情報収集及び提供を行う。

#### ②金型の受注、生産高等の業況の調査及び提供

### (5) 金型に関する普及及び啓発（定款第4条第5号関係）

#### ①会報の発行

本会の活動、関係情報を掲載した「会報」を発行する。

#### ②インターモールド展（国際金型加工技術展）及び金型展の開催準備

金型加工技術の普及を図るために、インターモールド2013（東京）開催の準備を行う。

#### ③各種セミナー、講習会及び型別部会の開催

金型に関する経営及び技術の向上並びに情報交換のため、経営研修会、金型シンポジウム、型別部会及び各種の研究会を開催する。

### (6) 金型に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第4条第6号関係）

①金型関連国内関係機関等との交流及び協力

金型企業の経営改善及び技術向上のため、金型に関連する国内関係機関等との交流及び協力を行う。

②金型関連海外関係等との交流及び協力

ISTMA（国際金型協会）及びFADMA（アジア金型工業会協議会）の会議に参加し、加盟諸国との情報交換、交流及び協力を行う。

③海外諸国との交流及び協力を行う。

アセアン諸国等との交流及び協力を行う。

### 3. 具体的主要事項

#### (1) 事務局事項

本部関連 — 政府との連携業務の推進と情報ネットの活用

①政府関連の業務並びに支部との連携

②機械統計、工業統計等の各種統計及び調査に協力する。

③各委員会の事務局業務並びに事業活動の推進

④支部が推進する各事業に対し効率的な運営の支援

支部関連 — 会員企業の連携と強調

①委員会並びに部会、地域会、研究会等の活動と交流事業の推進並びに各地域行政機関との連携業務

②本部との連携を図り、各事業の協調体制の強化と業務の効率化推進

③会員の増強並びに工業会の啓蒙活動

#### (2) 総務財務委員会

①工業会の活性化、組織の強化、資産の健全な維持・運用を図る。

②会務及び諸規定等の策定・見直しを行う。

③会員増強に関する事業を行う。

④顕彰、表彰に関する非表彰者の推薦を行う。

⑤行賞規程に従い「金型の日」における表彰を行う。

⑥慶弔規程内規に従い会員及び職員の慶弔見舞を行う。

⑦会長および理事会による特命事項について検討を行う。

⑧一般社団法人認可申請を行う。

⑨会員調査アンケートを行う。

⑩第39回金型の日記念式典を開催する。（日韓金型フォーラムとの合同開催）

○第39回金型の日 平成24年11月6日 於：インターコンチネンタル東京ベイ

⑪その他、総務、財務に関する事項について検討を行う。

### (3) 経営労務委員会

- ①賃金・労働時間調査を行い会員に報告書を提供する。
- ②金型業界動向調査を行い会員に報告書を提供する。
- ③景況調査を行い会員に情報を提供する。
- ④金型業界緊急対策事業を検討し取り組む。
- ⑤金型取引環境整備事業を検討し取り組む。
- ⑥その他、会員の経営と労務に関する事項について検討を行う。

### (4) 広報委員会

- ①会報の平成24年度からの会報の一本化を行い年4回の発行と会報記事の充実を図る。
- ②インターモールド2012及び金型展2012（大阪）を開催し、インターモールド2013及び金型展2013の東京開催の準備を行う。
- ③第4回学生金型グランプリ（大阪）を開催し、第5回学生金型グランプリ（東京）の開催の準備を行う。
- ④ホームページの充実を図ると共に本部、支部のホームページの一本化に向けた検討を行う。
- ⑤2013年度版会員名簿の製作を行う。
- ⑥金型製造業のPR活動を行う。

平成24年度は、ものづくりの重要性をPRするための具体的な施策を検討する。

### (5) 国際委員会

- ①ビジネス・マッチング、商談会、海外視察等の企画、実施  
金型製造業の活路を見出すために海外諸国とのビジネス・マッチング、商談会、展示会視察等を企画し実施する。
- ②ISTMA（国際金型協会）関係活動  
ISTMA総会、理事会等へ参加して世界の金型関連情報を提供する。
- ③FADMA（アジア金型工業会協議会）関係活動  
○FADMA総会、理事会へ参加して世界の金型関連情報を提供する。  
○平成24年度にFADMA総会と講演会を日本で開催する。  
FADMA総会・講演会  
平成24年4月16日～19日 於：ハイアットリージェンシー大阪
- ④「第10回日韓金型フォーラム」の開催  
毎年日本と韓国で交互に開催している「日韓金型フォーラム」を平成24年度は日本で開催する。  
○第10回日韓金型フォーラム 2012年11月6日 インターコンチネンタル東京ベイ（予定）

#### ⑤国際交流関係

国際交流のために海外諸国から要請のあった場合、金型関連視察団を受け入れる。

#### ⑥経済産業省等の国の事業等への協力

経済産業省等の国からの諸外国への業界関係ミッション派遣等の協力要請に協力する。

### (6) 技術委員会

①会員の金型関連技術向上のために海外及び国内の企業視察、海外展示会の見学会等を企画し実施する。

②雇用能力開発機構（高度ポリテクセンター）と共同で金型関連セミナーを企画し開催する。

③金型関連の技能検定制度に対し厚生労働省、中央職業能力開発協会への協力を行う。

④金型技術指針作成のための検討、製作を行う。

⑤金型関連のISO規格、JIS規格等の立案、改正、廃止等の見直しについて経済産業省、（財）日本規格協会に協力して対応する。

⑥海外の金型関連規格への対応とサポート体制の構築を行う。

⑦その他の技術委員会関連事項に対して対応する。

## 4. 支部事業計画

### 【東部支部】

#### <概要>

平成22年度から推進してきた国の補助事業「JAPANブランド育成支援事業」の活動を通じ、明らかになったことは、日本の金型企業の強みは、ただ指示通りの金型をつくるだけではなく、ユーザーが今、解決しなければいけない緊急課題に真摯且つ柔軟に取り組み期待に応える、あるいはユーザーが先進的な技術開発を進めるうえで生まれる新しいニーズに積極的に取り組み期待に応える、という点にあった。つまり、今後、日本の金型企業がその強みを発揮するには、「ものづくりのソリューション（課題解決）型 御用聞き」として、ユーザーの課題や新しいニーズをどの国よりも先んじて正確に把握することが、ますます重要になってくる。

日本の金型企業が培ってきた金型技術は、ものづくりの課題解決に最も役立つ有用なツールであると信じ、「best utility solution tool called “KANAGATA”」の思いの下、世界市場での金型ジャパンプランドの確立を目指していく。

東部支部では、平成24年度も今後、日本の金型企業の目指すべき方向性を見据えながら、各事業を推進する。

### 委員会活動

#### (1) 技術委員会

1. 金型技術の向上を図るため第40回金型関連技術発表講演会を開催する。40回を記念し、会員以外の参加も積極的に呼びかける。

2. 金型製造現場における技術的な問題や課題の解決を目指す金型生産システム研究会

幹事会ならびにワーキンググループを運営する。

3. 賛助会員や友好団体が主催する技術セミナーを後援する。
4. 東部支部のネットワーク環境の管理・運営を行う。

## (2) 経営労務委員会

1. 新たに「製品開発検討分科会」「海外市場開拓分科会」「機械事故・トラブル防止検討分科会」の3つの分科会を設置し、テーマ別の活動を推進する。
  - 「製品開発検討分科会」  
製品開発に興味を持つ金型メーカーと金型ユーザーが出会う場を設置し、製品開発への連携を目指す。
  - 「海外市場開拓分科会」  
国の補助事業「JAPAN ブランド育成支援事業」を推進する。国内にものづくりの現場を残すために、ジャパンプランド金型を世界にどう普及していくかを検討する。
  - 「機械事故・トラブル防止検討分科会」  
工作機械の事故・トラブルを未然に防止するための情報交換会や研修会を行う。
2. 実践型人材養成システムの活用を推進する。
3. 東部金型機械補償制度やアフラックの集団取扱保険への加入を促進する。

## (3) 広報委員会

1. 会員増強に向け「一日体験入会」などの広報活動を行う。
2. 会員企業のビジネスチャンス拡大に資する効果的な広報方法、例えば国内展示会への共同出展などについて検討を行う。
3. 英語版の会員企業紹介ガイドブックの作成検討を行う
4. 会員の慶弔に対応するとともに表彰を行う。

## (4) 運営委員会

1. 会員相互の親睦強化を目的として新年懇親会、総会での懇親会を開催する。
2. 東部支部熟年経営者の会である金型湯島会を運営する。
3. 東部支部ゴルフ会を年6回開催する。

## (5) 活性化委員会

1. 需要業界や海外の動向について情報収集を行い、適宜、研修会やセミナーを開催する。
2. 型技術協会との交流の場「金型サロン」を開催する。
3. 会員企業のニーズを汲み上げ、新規事業を企画し、各委員会へ提案を行う。

## 型種別部会・地区会活動

### (1) プラスチック型部会・ガラスブロー型部会（合同部会）

1. 部会全体の運営を検討する幹事会を開催する。
2. 合同地区会としてパネルディスカッションを開催する。
3. 見学会を開催する。
4. プラスチック型部会の5つの地区会（城東地区会、城西地区会、城北地区会・新潟

地区会（合同地区会）、城南地区会）は、定例地区会などの活動を推進する。

(2) プレス型部会

1. 定例部会を開催する。
2. ユニークな（特徴を持った）経営を行っている企業を訪問し、経営者の話を聞くとともに工場見学を行う。
3. 協賛している日本塑性加工学会などのセミナー・見学会に参加する。

(3) ゴム型部会

1. 定例部会ならびに若手会を開催する。
2. 国内あるいは海外の工場見学会を開催する。
3. ゴム方需要業界団体主催の展示会に出展する。

(4) 鋳鍛DC型部会

(平成24年度から鋳造型部会・鍛造型部会・ダイカスト型部会が合併しスタート)

1. 定例部会を開催する。
2. 国内あるいは海外の工場見学会を開催する。

その他

1. 経済産業省、関東経済産業局、東京都をはじめとする各行政機関が実施する事業に協力する。
2. 日本金型工業健康保険組合、日本金型工業厚生年金基金の加入促進に協力する。
3. 若手経営者並びに後継者で組織している天青会の運営に協力する。
4. その他、東部支部の事業目的を達成するための諸事業を行う。

【中部支部】

◆部会活動は以下の事業を計画する。

- ・7つの部会（ゴム・プラスチック型部会、プレス型部会、ダイカスト型部会、鋳造型部会、鍛造型部会、浜松部会、北陸部会）により、工場見学会、勉強会等を開催し、情報交換、技能・技術の向上に努め、知識吸収を図る。又、2012名古屋プラスチック工業展に出展協力し、会員企業のPR等に努める。又、海外の金型製造に関する視察を行う。又、客先関連団体等との懇談会を企画し、情報交換等交流に努める。

◆委員会活動は以下の事業を計画する。

1. 運営委員会
  - ・総会及び支部運営に関する件について検討する。又、各委員会並びに部会へ協力体勢をする。
2. 経営・労務委員会
  - ・本部の経営労務委員会に出席し、当支部の動向・意向を反映させるとともに、同委員会からの必要事項を伝達する。
  - ・事業推進の必要に応じて委員会を開催する。
  - ・会員のニーズに応じて、講習会・講演会等を企画し実施する。
  - ・本部・支部が推進する各種事業に協力する。

### 3. 技術委員会

- ・正会員、賛助会員、大学等の技術研究機関等と協力して、最先端技術や数年後の技術等についての研究成果及び事例の発表の場として「金型関連技術発表交流会」を企画運営し、開催に努める。
- ・公的試験研究機関並びに大学等との交流を深め、新技術の開発と金型技術の向上を図る。
- ・品質管理検定（QC検定）について、会員企業に広報し団体受検を推進する。
- ・金型関連企業及び団体各位に協力を求め、海外情報をはじめ、講習・講演会の共催を依頼する。
- ・会員同士の積極的な交流に努め、工場見学会・勉強会を実施する。
- ・本部委員会の方針に基づき、支部において事業計画をたて、新技術導入に力を注ぐ。

### 4. 福利厚生委員会

- ・会員各社の和と健康保持を奨励し、ソフトボール大会・懇親ボーリング大会他のレクリエーション事業も検討して主催する。

### 5. 広報委員会

- ・新春講演会並びに新春賀詞交歓会を企画運営する。
- ・(社)日本金型工業会会報及びホームページ内中部支部ページについて、掲載内容等の企画検討をする。
- ・会員コラム集を作成し、会員企業他に配布する。
- ・関係官庁・諸団体からの各種案内についてのメール配信を推進する。
- ・本部広報委員会に協力すると共に支部に設置のない本部委員会の情報を速やかに伝達する。

### 6. 特別委員会

#### ①金型企業活性化戦略委員会

- ・会員外企業の入会促進について各部会と協力して推進する。
- ・金型企業が活性化されるための要因を検討し実践に努める。
- ・型別部会並びに地域別部会の再編成等について検討する。
- ・本部委員会に協力すると共に情報を速やかに支部会員に伝達し、経営戦略の検討等、金型産業の活性化を図る。

#### ②会員増強委員会

- ・基盤拡充のため新会員の推薦にも努め、円滑な事業活動の運営に努力する。
- ・事業推進の必要に応じ委員会を開催する。

### 7. その他

- ・関係各官庁、業界団体の講習会・講演会等の案内を速やかに連絡して知識吸収を奨励する。
- ・イーグル会、中部金型クラブについて支援を行う。
- ・日本金型工業厚生年金基金に協力して会員各社の充実をバックアップする。

## 【西部支部】

### ■平成24年度西部支部のメインテーマ

「仕事のとれる仕組みづくり」

1. 自社独自の仕組みづくり
2. 西部支部内でのグループとしての仕組みづくり



### 3. 社団法人日本金型工業会全体事業としての仕組みへの参加

#### ■勉強会

4月勉強会 4月25日(水) 講演テーマ「金型産業ビジョン」  
講師 東京経済大学 経営学部  
専任講師 山本 聡 氏  
(現 一般財団法人 機械振興協会 経済研究所 研究員)

5月勉強会 5月17日(木) 講演テーマ「医療関連市場事情」  
講師 財団法人 医療機器センター  
医療機器産業研究所  
客員研究員 日吉 和彦 氏  
講演テーマ「特許の基礎知識の再確認」  
講師 鎌田特許事務所  
弁理士 鎌田 直也 氏

6月勉強会 新・成長戦略と金型産業

7月勉強会 第1回仕事のとれる仕組みづくり検討会

9月勉強会 第2回仕事のとれる仕組みづくり検討会

10月勉強会 第1回金型関連技術発表講演会

11月勉強会 講演会

12月勉強会 第3回仕事のとれる仕組みづくり検討会

1月勉強会 講演会

3月勉強会 講演会

■西部支部事業計画説明会 5月17日開催

■西部支部新年懇親会 1月開催

■西日本金型関連企業交流会 5月17日開催、1月開催

■支部役員会(年6回開催)

第8回支部役員会(4月開催)、第9回支部役員会(7月開催)

第10回支部役員会(9月開催)、第11回支部役員会(11月開催)

第12回支部役員会(1月開催)、第13回支部役員会(3月開催)

#### ■その他

1. 西部支部管轄内の各行政機関が実施する事業に協力する。
2. 若手経営者の会「型青会」並びにゴルフ会などは西部支部事業として推進する。
3. 日本金型工業厚生年金基金の加入促進に協力する。
4. その他、西部支部運営に必要な諸事業を実施する。